

二四 天保四年二月 富岡町の絹市場議定並び絹売宿の前金請

書〔A〕

(表紙略)

差出シさしだ申議定もうすぎじょう一札之事いっさつのごと

一 近年、当所三ヶ町絹市之儀、甚猥り相成、諸方絹買衆中江
 対シ、不埒之儀茂有之趣被レ及御聞、御利害被ニ仰聞、申
 訳茂無之仕合、右ニ付今般、仲間一流議定連印差出シ申候処、
 左之通

一 三町絹市場捌方之儀、近年在方絹世利立入、自分売仕

候儀茂多分有之、猶又仲間之内、而茂在方絹世利引請、慈愛
 を以密々半口銭等請取、自分売為致候者茂有之、自然猥り
 相成、絹紛失或者勘定間違等、茂有之候節、詮儀等茂行届キ
 兼、甚難渋仕候ニ付、此度相改、後來売宿三ヶ町之外者、自
 分売為致申間致候事(敷)

一 近在絹売方江対シ、前々不埒之者茂有之候処、向後右様之儀
 無之様、急度相改可申候事もうすべく

一 近年、絹買衆中売宿仲間勝手合を以、前金借請、絹代先払
 来候処、其時ニ勘定相立兼候者茂有之、右ニ付絹買衆中
 前金借用被ニ相断、仲間一流難渋至極仕候ニ付、此度、藤岡
 町・高崎宿・吉井宿右三ヶ所絹買衆中、江相頼、書付入置候処、
 左之通

一札之事

一近年在々絹売衆為ニ融通ニ前金払致度候」ニ付、各々方々前金借用 仕度段、当所三ヶ町」より惣代を以御願申入候処、早速御承知被ニ成下」忝 存候、然上者向後其時ニ急度御勘定可仕候、」尤 売宿分限ニ応し御貸渡可被下候、万一右金」相滞候者御座候ハ、被ニ仰聞ニ次第年行司立合、」仲間一流急度弁金可仕候、各々様方江者少シ」茂御損毛相掛申間鋪候、為ニ後日一札入置申候」処、仍而如件

富岡町之内

天保巳年二月

上町

絹売宿惣代

三重郎

同 庄左衛門

中町

同 弥太郎

同 吉松

高崎宿

瀬下町

同 音三郎

吉井宿

同 兵右衛門

絹買衆中様

右ニ付、絹方為ニ助成、市日拾弍文ツ、積置、月」番行司之者取集、年々祇園之節、役」人中立合之上、可然方江預ケ置、利分差」加、後来絹方難渋之節、右金を以取計」可申事

(後略)